

がっ ど い りんぽかん
10月 土居隣保館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2 ｽﾛｰｲｱﾛﾋﾞｯｸ 10:00～	3	4
5	6 ｸﾗﾌﾄ ﾊﾝﾄﾞ教室 10:00～	7	8	9 ｽﾛｰｲｱﾛﾋﾞｯｸ 10:00～	10	11
12	13 ｽﾎﾟｰﾂの白	14	15	16 ｽﾛｰｲｱﾛﾋﾞｯｸ 10:00～	17	18
19	20	21	22	23	24 ｼﾝｹﾝざだんかい 人権座談会 18:30～	25 もっこうきょうしつ 木工教室 10:00～
26	27	28	29	30	31	

ど い りんぽかん しゃかいふくしほう もと ちいきじゅうみん しゃかいふくし
土居隣保館は、社会福祉法に基づき地域住民のコミュニティーセンターとして、社会福祉の

じゅうじつ そうしん はか どうわもんだい ｼﾝｹﾝもんだい かいけつ はか せっち
充実や増進を図るとともに、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決を図るために設置

しせつ おお ひと こうりゅう はか だれ す ちいき きよてん かつどう
された施設です。多くの人が交流を図り、誰もが住みよい地域づくりの拠点となるように活動し

りんぽかん そうだんじぎょう かくしゅこうざ がくしゅうかい かしかんじぎょう ｼﾝｹﾝ ふくし
ています。隣保館では相談事業、各種講座や学習会、貸館事業など「人権と福祉のまちづくり」

じつげん む じぎょう と く みな らいかん ま
の実現に向けて、さまざまな事業に取り組んでいます。皆様のご来館をお待ちしています！

ど い りんぽかんだよ
土居隣保館便り

2025 年

10 がつごう
月号

はっこう ど い りんぽかん 発行：土居隣保館 〒799-0703 どいちょうふじわら 土居町藤原5-400-3 TEL/FAX 28-6356

ど い ち い き こ かいごうどうこうりゅうかい
土居地域子ども会合同交流会

かいさい
サマーキャンプを開催しました。

かくちく こ かい たが ｼﾝｹﾝ そんちょう さべつ みぬ さべつ ゆる
各地区の子ども会において、互いの人権を尊重し、差別を見抜き差別を許さない

がくしゅう かせ じどう せいと つど さべつ ゆる おも なかま
学習を重ねている児童・生徒が集い、いじめや差別を許さない思いでつながる仲間

れんたいいしき たか もくてき こ かいごうどうこうりゅうかい かいさい
の連帯意識を高める目的で子ども会合同交流会「サマーキャンプ」を開催しました。

ことし じどう せいと にん せんせいがた にん き
今年は児童・生徒19人と先生方14人が、サマーキャンプに来てくれました。

ことし きたちくこうりゅう みなさま きょうりょく づく
今年は北地区交流センターのボランティアの皆様のご協力をいただき、うどん作り
を体験しました。



ぜんじつ ｼｼﾞゆんび かたまり ふ
前日に準備したうどんの塊を踏みます。

こ たいじゅう かる ふ
子どもたちは体重が軽いため、踏めません。

おも ふ
やっとの思いで踏みました。

つぎ かたまり めんぼう の
次は、塊を麺棒で伸ばします。

はじ しょうす
初めてなのに上手にできました。

もくひょう の
3ミリを目標に伸ばしました。





まだまだ続きます。

粉まみれになりながら、包丁で切ります。

本当に集中して、慎重に慎重に

精一杯、細く切りました。

みんなに見守られながら、自分たちで

やりきりました！すごい！



最後はみんなで一緒に「いただきます」

交流センターの方が作ってくれた肉を

載せて「冷やし肉ぶっかけ」です。

自分たちで作ったうどんは格別でした。

3杯食べた子もいました。

「自分でできる！」

そんな自信がついてくれると嬉しいです。

うどんを食べた後は、射的やドミノをして交流しました。また、地域の方が差し入れ

してくれたかき氷を食べながら夏を満喫しました。

無邪気で素直なこの子たちが安心して、自分らしく笑顔で生活できる社会を作っていき

たいと思いました。



ど い ち い き りんぽかんがくしゅうかい 土居地域 隣保館学習会

今年も7月と8月に合計4回、隣保館学習が開催されました。土居地域の

小学校・中学校・就学前の教職員が参加し、差別の現実学ぶことを通し

て、教職員一人ひとりが、人権・同和問題に対する正しい認識を深めるととも

に、差別解消に向けて自分にできることを考え行動していくことの大切さを

確認しました。また他校の教職員と語り合うことにより、より広い視野に立つ

て人権・同和問題の解決に向けての行動を話し合いました。

今年のテーマは『「寝た子を起こすな」論について思うこと。』でした。

学習の中で、「正しい知識を学び、自分は差別をしない人になりたいから

学習しています。と相手に伝える。」・「教育でしか差別は解消できな

い。」・「相手の考えを否定せず、同調もせず、思いを聞きながら自分の思い

を伝えたい。」「自分の子どもや孫がいじめられているとき、そのままにして

解消することはない。行動することの大切さを伝えたい。」などの意見が出され

差別解消に向けての活発な意見交換が行われました。

差別を無くすためには教育の力が最も重要だと思います。正しい事を学び続

けていかないと間違った情報に気付くことができず、偏見が生まれてしまいま

す。インターネット上は非常に多くの情報で溢れていて、子どもたちが差別と

で会うことなく成長することは困難になっていると思います。反差別の思いを持

っていれば差別者にはなりません。差別する人にならないためにも人権・同和

教育を学ぶことは大切です。

主事 高橋 建太郎